

舗装の個別施設計画

川南町建設課

平成30年9月

(令和5年3月改定)

目 次

1. 舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 舗装修繕予算の現状
- 1.3 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度

3. 計画期間

- 3.1 計画期間

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

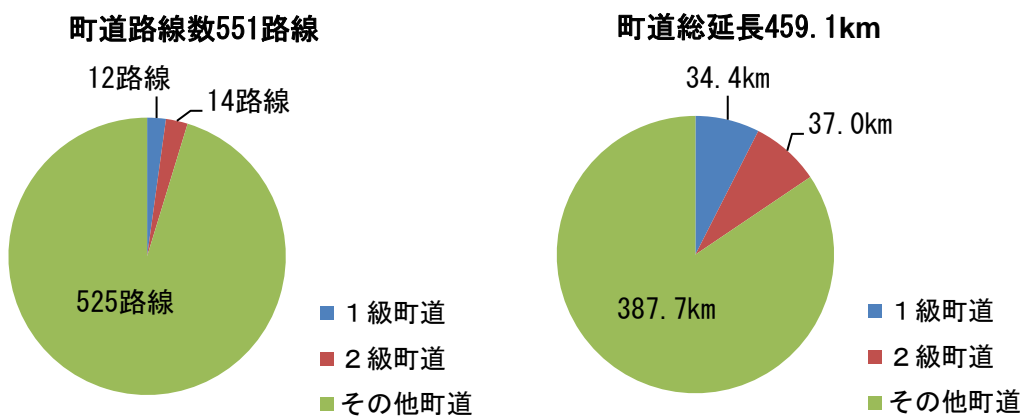
1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

・管理延長と舗装延長

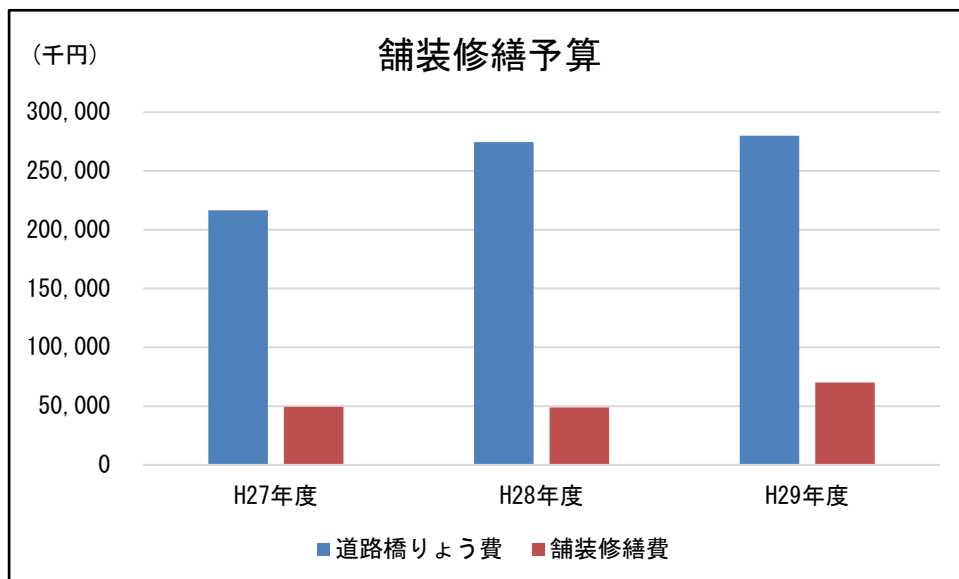
道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		A s 舗装	C o 舗装	
1級市町村道	34.4km	34.4km	0.0km	100%
2級市町村道	37.0km	37.0km	0.0km	100%
その他市町村道	387.7km	357.7km	4.6km	93%
計	459.1km	429.1km	4.6km	94%

※ A s 舗装に簡易舗装を含む



1.2 舗装修繕予算の現状

道路予算のうち舗装修繕予算は増加傾向にあります。



1.3 舗装の現状

川南町が管理する1級町道のうち約27.5kmを対象として平成29年度に路面性状調査を「舗装点検要領(平成28年10月国土交通省 道路局)」に準拠して行い、舗装劣化の状況を把握しました(1路線は平成27年度に調査済み)。

なお、路面性状調査を行っていない2級町道やその他町道については、職員によるパトロール等での点検を行いながら、必要に応じた修繕等を行っています。

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指します。

2.2 管理道路の分類(グループ分け)

- ・大型車交通量、路線の重要度等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路	1町道、2町道
分類Dの道路	上記以外の道路

2.3 管理基準

ひび割れ率	M C I
40%以上	4.0以下

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	路面性状測定車又は目視点検	5年に1度
分類Dの道路	職員による巡視の機会を通じた路面状況把握	

3. 計画期間

3.1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、8年とする。

4. 対策の優先順位(補修計画の方針)

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定します。(診断結果に基づき、区分Ⅲの道路から補修(修繕)を行う)

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

- 平成29年度の路面性状調査による診断結果は以下のとおり。

分類Cの道路	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	Ⅲ-1	Ⅲ-2
				13,069m	3,807m

区分Ⅰ：健全（損傷レベル小：ひび割れ率20%未満程度または $4 < MCI$ ）

区分Ⅱ：表層機能保持段階（損傷レベル中：ひび割れ率20%以上程度または $MCI \leq 4$ ）

区分Ⅲ-1：修繕段階（損傷レベル大：ひび割れ率40%以上程度または $MCI \leq 3$ ）

区分Ⅲ-2：修繕段階（損傷レベル大：ひび割れ率40%以上程度または $MCI \leq 2$ ）

5.2 対策内容と実施時期

診断結果に基づき、今後8年間の補修実施箇所、概算工事費、補修の優先順位を設定しました。補修計画は、平成30年度（2018年）から8年間で路面性状が悪い区間を優先度が高い路線から重点的に補修する計画としました。

アスファルト舗装の診断区分と対策工法

区分Ⅰ：健全	—
区分Ⅱ：表層機能保持段階 （使用目標年数を意識した管理に基づく補修）	（対ひび割れ）シール材注入工法、フォグシール・チップシール等の表面処理工法、パッチング、わだち部オーバーレイ工法（レーンパッチング）、薄層オーバーレイ工法等 （対わだち掘れ）切削工法、パッチング、わだち部オーバーレイ工法（レーンパッチング）等
区分Ⅲ-1：表層等修繕	切削オーバーレイ（表層等）等
区分Ⅲ-2：路盤打換等	【詳細調査・修繕設計を実施した上で】 路盤を含めた舗装打換え工法、路盤の強化（セメント安定処理等）、コンクリート舗装やコンポジット舗装への変更等

維持補修計画

路線番号	路線名	距離(m)	舗装幅員(m)	調査年度	ひび割れ率(%)	MCI	診断結果	交通量区分	道路の種類	優先順位	H30対策内容	補修費(千円)	R1対策内容	補修費(千円)	R2対策内容	補修費(千円)	R3対策内容	補修費(千円)	R4対策内容	補修費(千円)	R5対策内容	補修費(千円)	R6対策内容	補修費(千円)	R7対策内容	補修費(千円)
105	町道塩付・長岡線	870	7.0	H27	53.8	—	Ⅲ-1	N4	C	1	打換、切削OL	32,400														
106	町道松原・通山線	1,600	6.8	H29	52.0	2.8	Ⅲ-1	N4	C	2	切削OL	21,000	切削OL	37,400												
102	町道垂門・甘付線	3,330	6.5	H29	44.5	3.2	Ⅲ-1	N4	C	3			切削OL	47,600							切削OL	26,000	切削OL	26,000	切削OL	28,000
108	町道中須・小池線	1,440	6.5	H29	46.4	3.0	Ⅲ-1	N4	C	4				切削OL	51,500											
110	町道唐瀬・市納線	1,130	6.5	H29	58.0	2.5	Ⅲ-1	N3	C	5						切削OL	40,400									
101	町道毘沙門・名貫線	1,110	8.0	H29	40.7	3.3	Ⅲ-1	N4	C	6									切削OL	52,000						

